

建設の施工企画

2005年5月号 No.663

目次

災害復旧・防災対策特集

1	グラビア	スリランカにおける津波からの復旧状況	
3	巻頭言	予知に頼らぬ減災対策に向けて	吉村 秀實
4		大規模災害現場における機械の有効活用	新田 恭士
12		災害に関する危機管理の課題と平常時からの備え	日下部毅明
18		インド洋大津波の被害状況と今後の防災対策	牧野 武人
24		スリランカにおける津波からの復旧状況の調査	山名 良
29		新潟県中越地震災害復旧における建設機械活動	小河 義文・山口喜久一郎
34		新潟県中越大震災における復旧活動	貝沼 勝・高橋 茂・近藤 哲英
40		レンタル会社の災害復旧支援活動	西郷 太郎
43		総合的な津波防災技術	田村 保
48	ざいそう	アメリカ Conexpo 2005 視察記—気ままにラスベガスを訪れて—	池田 隆太
49	ざいそう	冬道雑感	三浦 弘志
50	トピックス	モルディブ共和国マレ島の護岸(離岸堤)等高波対策施設の建設	
			平田 和之
53		社団法人日本建設機械化協会定款	
58		平成16年度社団法人日本建設機械化協会事業報告	
69	JCMA 報告	燃料分科会活動報告—排ガス規制と燃料規制—	油脂技術委員会燃料分科会
70	CMI 報告	新潟県中越地震調査報告	谷倉 泉・上石 修二
73	新工法紹介		広報部会
75	新機種紹介		広報部会
79	統計	(2005年2月)	
83	行事一覧	(2005年3月)	
86	編集後記		(斉藤・西園)

◇表紙写真説明◇

新潟県中越地震災害復旧における建設機械の分解空輸

写真提供：新キャタピラー三菱

新潟県中越地震における、山古志村での大規模法面崩壊は、芋川の河道をせき止め、集落家屋が水没するなど、大きな被害が発生しました。このため緊急にポンプによる排水や仮排水路の工事が必要でした。

しかし山古志村へ向かう陸路はことごとく破壊され、建設機械等の機材は空輸に頼らざるを得ない状況となりました。

対策事業は国の直轄砂防事業として実施されましたが、現地の工事に使用する建設機械は、工場にて空輸可能な重量まで分解し、自衛隊のヘリコプターにおいて山古志村現場まで空輸することとなりました。写真はそのときのヘリポートでの、まさに分解した建設機械部品を空輸する瞬間です。

多くの関係者の苦勞のもと、工事は無事終了しています。